

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1996. 11

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 151

日本野鳥の会 埼玉県支部

# マイフィールドノート 入間川

石井幸男（川越市）

私のフィールドは、川越市雁見橋から狭山市笹井堰上流の雑木林まで約12kmの入間川の河川敷です。1988年1月1日から1996年7月31日までの探鳥記録をまとめてみました。この間の入間川定例探鳥会の記録も入っていますが、探鳥会コースは後半この河川敷からはずれるので、その後のコース部分で記録されたものははずしてあります。探鳥会以外では、1ヵ月に平均3回くらいずつ歩いています。土曜日と日曜日の歩ける時だけ歩いたもので、肩ひじ張った調査研究とかなんとかいうものではなく、気楽な探鳥結果をまとめたものです。こんな記録でも、身近な環境の変化を知る手がかりになるのではないのでしょうか。

◎はよく見られる鳥、○は時々見られる鳥、△はまれに見られる鳥です。

鳥種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
カイツブリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
カワウ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△
ゴイサギ	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	△
ササゴイ	△	△	△	△	◎	○	◎	◎	◎	○	△	○
アマサギ					△	△	△	△	△			
ダイサギ	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎
チュウサギ		○					△	○	○	◎		
コサギ	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
アオサギ	○	○	○	△			△	○	○			
ナベコウ										△	(1990年)	
マガモ	◎	◎	◎	○				△		◎	◎	◎
カルガモ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
コガモ	◎	◎	◎	◎	○				△	◎	◎	◎
ヨシガモ			△	(1994年)								
オカヨシガモ	○	◎	◎							△	◎	◎
ヒドリガモ	○		◎	○							○	◎
オナガガモ	◎	◎	◎	◎			△			○	◎	◎
ハシビロガモ	◎	◎	◎	△							◎	◎
ホシハジロ	◎	◎	◎	○	△						◎	◎
キンクロハジロ	◎	◎	◎	◎	△						◎	◎
スズガモ	△	(1996年)										
ミコアイサ		○	○									
トビ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
オオタカ	○	△	◎	△	○					◎	◎	◎
ハイタカ	△	(1991年)								△	(1991年)	
サシバ									△	(1993年)		
ハヤブサ										△	(1992年)	
チョウゲンボウ	△		◎	◎	△	○	△	○		○	◎	○
コジュケイ	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
キジ		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
クイナ			△	△	(1994年)							
バン				◎	◎	○	○	◎	◎	◎		
コチドリ	△		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○
イカルチドリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
シロチドリ									△	(1992年)		
ムナグロ				△				△	○			
タゲリ	△	◎	△							○		
ハマシギ	◎	◎	◎	◎	◎	△	△		○	△	◎	◎
クサシギ	○	△	◎	○	○			○	○			
タカブシギ			△		○	△						
キアシシギ					◎		◎	◎	◎			
イソシギ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
タシギ	○	◎	◎	◎	△					◎	◎	○
アカエリヒレアシシギ					△	(1992年)						
ユリカモメ	◎	◎	○	◎	△			△		○	◎	◎
セグロカモメ	△	△	(1991年)									
カモメ										(1990年)		△
コアジサシ					△	(1994年)						

キジバト	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
カッコウ					◎	◎	△			△	(1992年)	
ツツドリ												
フクロウ		△	(1990年)									
ヒメアマツバメ	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○		△
アマツバメ	△				○				△	△		
カワセミ	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アリスイ										(1993年)	△	△
アオゲラ	○		◎		○					○		△
アカゲラ					△						△	△
コゲラ	◎	◎	◎	◎	◎		○			○	△	◎
ヒバリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ショウドウツバメ								△	△	◎	◎	
ツバメ			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
コシアカツバメ					△	(1993年)				△	(1993年)	
イワツバメ		△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
キセキレイ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ハクセキレイ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
セグロセキレイ	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ピンズイ	△	△									△	△
タヒバリ	◎	◎	◎	◎	○	○		△		○	◎	◎
ヒヨドリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
モズ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ミソサザイ			△	(1992年)								
ジョウビタキ	◎	◎	○							○	◎	◎
ノビタキ										△	○	
アカハラ		△	◎	△								
シロハラ			△	(1993年)								
ツグミ	◎	◎	◎	◎	○						△	◎
ウグイス	◎	○	◎	◎	◎	△	△				○	◎
コヨシキリ				△			○	○	○			
オオヨシキリ				◎	◎	◎	◎	◎	◎			
コメボソムシクイ					△	(1995年)						
エゾムシクイ					△	(1993年)						
センダイムシクイ					△	(1991年)						
セッカ		△		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△
エゾビタキ											△	(1993年)
コサメビタキ					△	(1990年)				△	△	(1990年)
エナガ			○							△		○
ヒガラ										(1992年)	△	
ヤマガラ										△	(1992年)	
シジュウカラ	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
メジロ	△		◎	△			△			○	◎	△
ホオジロ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ホオアカ		○	△									
カシラダカ	◎	◎	◎	△							◎	◎
アオジ	◎	◎	◎	◎							◎	◎
オオジュリン			△	(1993年)							△	(1993年)
カワラヒワ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
イカル											△	(1994年)
シメ	◎	◎	◎	○							◎	◎
スズメ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
コムクドリ				△	△		△					
ムクドリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
カケス			△								◎	○
オナガ	◎		○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ハシボソガラス	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ハシブトガラス	◎	○	△	◎	◎	△	△			○	○	◎

15目34科106種でした。以下はその他の出現鳥です。

ハッカチョウ								△				
ベニスズメ							△					
セキセイインコ								△				

## 地鳴きコーナー

### 探鳥会デビュー

#### 山本義和(川越市)

よ～し行くぞ!とばかりに家を出たのが、午前6時ちょっと前。今日は初めて探鳥会に参加する日です。

やや二日酔いではあるが、適度の緊張でなんとなく気持のよい朝でした。2～3度電車を乗継ぎ、買ったばかりの本『気ままにバードウォッチング』を開き、読み始めました。それは正に試験の前日に一夜漬けをした中年受験生が、電車の中で悪あがきをしている様に見えたかもしれません。違う意味では一夜漬け(もとい、アルコール漬け)は当たっていました。慣れないものを読んだ反動からか、寝不足からか、いつの間にかすっかり寝入っていました。

それからさほど時間は経っていないと思うが、女子中学生たちが、時折折黄色い声を交えながら大声で喋りまくっていました。人が気持ちよく眠っているのに、おかまいなし。

彼女たちはどうやら窓から見える木々がわからず、松の木だとか、梅の木だとか、竹だとか、知っている木の名前を並べまくっているようです。窓の外には、立派な杉林がありました。

最終目的地が近づくにつれて、なんとなく落ち着かなくなりました。私にとって秩父は生れて初めての土地です。同じ車両の人たちは皆リュックなるものを背負っているのに、私は通勤途中のサラリーマンスタイルそのもの。後悔の念で意気消沈している間に、西武秩父駅について、駅前の集合場所に行った時には、「場違い」をはっきりと意識してしまい、知る人の顔もなく、そのまま帰りの切符を買って、逃げるように帰りの電車で飛び乗りました。

そんな中でもしっかりと買っていた秩父の地酒ワンカップを傾けながら、今度来るときは俺もリュックを背負い、鳥の名前をもっと覚えてきてやるぞーっと言いつつ、一人スルメをはお張る私でした。

それから2ヵ月後。

一人では心細い私は、無理やり家族会員にした女房と、まだ3才になったばかりのJrを引き連れ、雨の丸山公園(上尾市)で、無事探鳥会デビューを果すことができました。

案ずるより、うむがやすし。約3時間程歩き続ける中で、最初にはしゃぎまわっていたJrも、いつの間にか私の背中に張りついたままになってしまったものの、「あっちに鳥がいるよ」「こっちにいるよ」と、頭の上から指示を出す始末。歩き疲れても、とても楽しく、いい気持でした。

まだ探鳥会デビューを果していない皆様。ぜひ参加してみてください。

デビューのための教訓その1：日ごろ何度か行ったことのある自宅に近い場所を選ぶ。その2：できれば友人、家族たちも一緒に。その3：集合場所には、一番かぎりぎりに行く。その4：リュックを背負い、雨具なども忘れずに。その5：前の日は飲み過ぎない。その6：気負わずに、ビギナーであることにほこりを持つこと。

では、ビギナーの皆様。探鳥会で会いましょう。

### 竹林の中のナゾの音

#### 井上暁子(久喜市)

私の不思議な話を聞いて下さい。

7月頃、祖父母の家へ手伝いに行った時です。家の裏の方から、変った音が聞こえてきました。タンタンタン…と、まるでカスタネットをたたいているような音でした。家の裏には、小さな竹林と何本かのクリヤキリの木があり、下草がおいしげっています。その向こうには通学路が通っていますが、家の中からはこの道は見えません。私はてっきり、小学生がカスタネットをたたいて下校しているものとばかり思っていました。けれど、いつまでたってもその音は止みません。そして、わずかずつ左から右へ移動しているようでした。

帰る時間となり、私は車に乗り込みました。

ちょうどその通学路を通るので、誰がいるんだろうと角を曲がったとたん、ピタッと音が消えてしまいました。もちろん誰もいません。何だかキツネにつままれたようでした。

あとで祖母と母が「分かった、分かった」と教えてくれたところ、その音の正体はコジュケイ。子連れだったので、警戒してくちばしを鳴らしていたのではないかということでした。

私は、コジュケイと言えば「チョットコイ」とか「ピョー」という声しか出さないと考えていました。ですから本当に正しいのかどうか分からなくて、お手紙を書いたわけなのです。でも、よく考えてみますと、オナガだって春先は、たしか「ゲーッ」という声の他にカタカタ…とくちばしを鳴らしていた気がします。

本当にコジュケイなのか？ どなたか教えて下さい。

気ままなウィークデー・バード  
ウォッチング

陶山和良（浦和市）

秋のシギ・チドリ類県内一斉調査に、参加出来なかった腹いせに、3日後、1人ぶらりと自転車で、大久保浄水場方面へ向かって、ペダルを踏んだ。人影も少なく、ここちよい秋風を肌を受け、土手の裾に咲く赤いマンジュシャゲを見、仲良くつながったアキアカネを眺めながらのサイクリング。気ままなウィークデー・バードウォッチングは格別。我が世の天国である。

最初に出逢ったのがシラコバト。どこからともなく飛んで来て、スレート葺きの倉庫の屋根にとまったところを発見。霧敷川のこの附近は、よく見かけるところ。幸先良好。

本日の目的地、大久保浄水場附近の田圃へ。まずは春の調査で担当したAサイド区へ直行。稲刈りの終わった田圃には、どこを探してもシギ・チドリらしきものは皆無。代役をつとめてくれたのが沢山のサギ達。コサギ、チュウサギ、ダイサギ、アマサギ。どうも白色のアマサギとチュウサギの区別がつかず、図鑑にとらめっこ。中に薄茶色に色づいたものを見つけ、どうやらそれを基準に識別

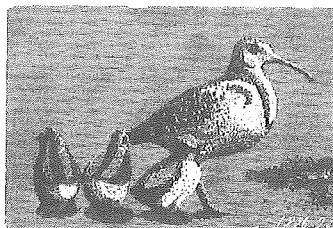
が出来た次第。

春はこの附近一帯で、沢山のムナグロやタシギ、タカブシギ等を見ることが出来たのにと、A区へ足を運んだが、ここもシギ・チドリは皆無、サギばかり。あきらめ気分で、ユックリ走らせる自転車。何気無く見た道端の、赤く色付いた葉をつけた背丈1m程のアカザの枝に真黄色の見なれない小鳥を発見。思わず釘づけになり、我が目を疑う。5m程の近距離にもかかわらず、落ち着いた姿。カワラヒワ大、全身が真黄色、目のまわりと腹がハッキリと黒く、初列風切が茶褐色。図鑑にも載っていない。今まで見たこともない珍鳥。胸がドキドキ高鳴る。

突然、チュリチュリ、チチチと鳴きながら飛び立ち、60m程離れた田圃の溝の小さなアシ原の中へ。カメラもビデオも持たない私。誰かいっしょに見て確認してくれる人はいないものか、あせりの気持で広い広い田圃を見回すと、ローラースケートで散歩中の若者二人。思わず声をかけ、二人に双眼鏡を渡し、確認してもらおう。「美しい鳥ですね」「こんな鳥が日本にいますか」とのこと。後々のために、自己紹介をし、二人の住所をたずねる。ヤレヤレ、証人が得られた。

帰途、意気揚々と秋ヶ瀬公園を走行中、ワゴン車のクラクションに顔を向けると、鳥仲間、佐藤進さんの日焼けした笑顔。早速、前述の黄色い鳥の話をしたところ、佐藤さんとはとくにご存知。もともとアフリカの鳥、カゴ抜けのオウゴンチョウが野生化したもので、知る人は知っているとのこと。ガッカリするやらホッとするやら。

その夜早速、ローラースケートの二人の若者に野鳥の絵葉書で報告した次第である。野鳥ファンが増えることを祈りつつ。



(秋間利夫)

鳥の観察日記

ヨシゴイ ◇9月1日、戸田市道満の彩湖で1羽（高橋達也）。

コガモ ◇9月5日、浦和市の白幡沼で2羽（海老原美夫）。◇9月6日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で12羽（秋間利夫）。◇9月7日、蓮田市黒浜の黒浜上沼で5羽以上（玉井正晴）。

シマアジ ◇9月5日、白岡町の休耕田で2羽（樋口信之）。◇9月13日、騎西町の休耕田で1羽（樋口信之）。

オオタカ ◇9月5日、戸田市道満の彩湖で1羽（高橋達也）。◇9月7日、浦和市秋ヶ瀬B区で若鳥1羽。ツツドリを追ったがハンティング失敗（海老原美夫）。

ハイタカ ◇9月11日、白岡町柴山地区から菖蒲農協直売所方向へ1羽（樋口信之）。

サシバ ◇8月21日、戸田市道満の釣り堀上空で1羽（高橋達也）。◇9月7日、蓮田市江ヶ崎の雑木林で木の頂きにとまるが、すぐに飛び立った（玉井正晴）。◇9月9日、浦和市秋ヶ瀬B区で1羽（樋口信之）。

チョウゲンボウ ◇9月6日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で1羽（秋間利夫）。◇9月9日、浦和市秋ヶ瀬B区で1羽（樋口信之）。

タマシギ ◇9月6日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で♀1羽。15日には、♂4羽♀2羽（秋間利夫）。9月6日、幸手市戸島の休耕田で♂1羽ヒナ3羽（秋間利夫）。◇9月13日、騎西町の休耕田で♂1羽ヒナ4羽。23日まで見られた（樋口信之）。

メダイチドリ ◇9月10日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で1羽（秋間利夫）。

ケリ ◇8月28日、白岡町の休耕田で2羽。31日にも1羽（樋口信之）。

オジロトウネン ◇8月31日、白岡町の休耕田で2羽（樋口信之）。

アオアシシギ ◇8月6日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷上空を1羽通過（高橋達也）。◇9月6日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で2羽（秋間利夫）。



カラフトアオアシシギ (9.24 谷津干潟)

クサシギ ◇8月23日、白岡町の休耕田で6羽（樋口信之）。◇8月28日、戸田市道満の彩湖で1羽（高橋達也）。

タカブシギ ◇7月18日、菖蒲町の休耕田で冬羽1羽（樋口信之）。◇8月23日、白岡町の休耕田で6羽（樋口信之）。◇8月23日、騎西町の休耕田で4羽（樋口信之）。◇9月6日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で10羽（秋間利夫）。

オグロシギ ◇8月27日、騎西町の休耕田で若鳥1羽（樋口信之）。◇9月6日、幸手市戸島の休耕田で1羽（秋間利夫）。◇9月15日、川越市古谷本郷の休耕田で若鳥と思われる個体1羽（浅見徹）。

オオソリハシシギ ◇9月5日、騎西町の休耕田で1羽。9日には、5日とは違う個体1羽（樋口信之）。

タシギ ◇8月28日、騎西町の休耕田で1羽（樋口伸之）。◇9月6日、杉戸町大島新田貯水池そばの休耕田で10羽（秋間利夫）。

オオジシギ ◇8月21日、白岡町の休耕田で3羽（樋口信之）。◇9月9日、川越市南古谷の休耕田で2羽（樋口信之）。

アカエリヒレアシシギ ◇9月4日、騎西町の休耕田で若鳥3羽。1羽は9日まで見られた（樋口信之）。

アジサシ ◇8月28日、戸田市道満の彩湖で5羽（高橋達也）。

カッコウ ◇9月5日、三郷市の江戸川上葛飾橋付近で1羽（岩瀬和志）。

ツツドリ ◇9月4日、白岡町の見沼代用水

脇の桜の木で1羽(樋口信之)。◇9月7日、浦和市秋ヶ瀬B区で普通型2羽、赤色型1羽。普通型が赤色型を追い回していた(海老原美夫)。

ショウドウツバメ ◇8月31日、川里村の見沼代用水脇の休耕田上空で10羽以上(樋口信之)。◇9月9日、浦和市秋ヶ瀬B区で約200羽(樋口信之)。

メボソムシクイ ◇9月5日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(高橋達也)。

エゾムシクイ ◇9月10日、浦和市の白幡沼で1羽。「ピッピッ」と鳴きながら、素早く藪の中を移動(海老原美夫)。

コサメビタキ ◇9月11日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(高橋達也)。

サンコウチョウ ◇8月31日、深谷市の仙元山で♀タイプ1羽。コゲラ、ヤマガラの混

群に混じる。アイリングがほとんど見えなかった。同じ群れにコサメビタキ、ムシクイsp.も各1羽(新井巖)。

ヤマガラ ◇8月21日、東松山市の物見山で2羽。遊歩道の上の方で松ぼっくりにぶら下がり、しきりに中をつついていた(中村豊己)。◇9月5日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(高橋達也)。◇9月8日、戸田市の戸田公園で1羽(高橋達也)。

ゴジュウカラ ◇9月7日、深谷市の仙元山で1羽(新井巖)。

イカル ◇8月21日、東松山市の物見山で4羽。南斜面の立ち枯れした高木の枝にとまっていた(中村豊己)。◇9月2日、東松山市の物見山で2羽。3声さえずる(中村豊己)。

コムクドリ ◇9月7日、蓮田市黒浜の黒浜中学校横の電線で♂1羽(玉井正晴)。

#### 表紙の写真

### ノビタキ (ヒタキ科ツグミ亜科)

10月の休日、自転車に乗って秋ヶ瀬公園に向かう。ピクニックの森でエゾビタキ、コサメビタキなどを撮影する。そろそろ首が痛くなってきたなと思うころ、大久保農耕地に自転車を走らせる。ノビタキが2羽、あぜの草

むらでひらりひらりと舞っている。のんびり座り込んで、ビデオカメラを回す。やがて日が暮れる。いつもの季節にいつもの鳥たちに会えることも嬉しいし、結構贅沢な時間だなとも思う。 海老原美夫(浦和市)

### はみ出し行事案内

#### 本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：12月1日(日)

集合：午前8時50分 JR高崎線本庄駅北口

午前8時55分発十王バス新伊勢崎行きに乗車、坂東大橋南詰下車。現地集合も可。

解散：午後1時半ごろ

担当：町田、小池、和田、林(滋)、中島(章)、倉橋、堀

見どころ：カワアイサ君に面会希望の方は初冬の利根川にお越しください。ここは、関東地方でも数少ない定期飛来地です。からっ風が歓迎しますので、ちょっと厚着でネ。ポットには暖かい飲み物もお忘れなく。

#### 浦和市・民家園周辺定例探鳥会

<見沼ヘルシーロードコース>

期日：12月1日(日)

集合：午前9時 浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前

交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、大崎園芸植物園行8:25発に乗車、念仏橋下車

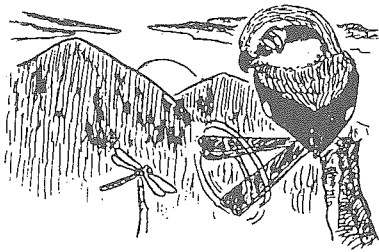
後援：浦和市くらしの博物館民家園

担当：伊藤、手塚、工藤、桜庭、新堂、笠原

見どころ：北の国からはるばるやってきたツグミやジョウビタキ等の冬鳥に会いに行きます。気持ちはきっと温かくなります。でも暖かい身支度はお忘れなく。

12月22日(日) 年末講演会を埼玉県民活動総合センターに於いて開催いたします。

# 行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：11月3日（日・祝）

集合：午前7時30分 丸山公園北口駐車場

交通：JR高崎線上尾駅西口5番バス乗場より  
西上尾車庫（畔吉経由）7:07発に乗車、「前原」下車 徒歩約10分

解散：午前11時ごろ

担当：桜庭、阿久沢、丹、浅見（健）、浅見（徹）、永野（安）、永野（京）、川那部、宇原、立岩

見どころ：秋の早朝探鳥会です。どんな鳥達に会えるか楽しみです。朝の空気でも心もリフレッシュしましょう。

## 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：11月3日（日・祝）

集合：午前9時 東武東上線柳瀬川駅前

担当：高草木、佐久間、石井（幸）、下川、村上、中村（祐）、中村（治）、志村、神場、遠藤

見どころ：田園の貴公子タゲリの飛来が期待できる。ガン・カモ類の調査場所をゆっくり見て、都市化したけれど自然がまだ残る土手の道を歩きます。

## 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：11月10日（日）

集合：午前8時15分 東武伊勢崎線春日部駅西口、東武バス1番乗場前、集合後バスで現地へ。8:28発→高野台下車。

または、午前9時15分アスレチック公園前駐車場

担当：吉安、中村（栄）、篠原（東）、入山、橋口

見どころ：深まり行く秋の内牧公園に出かけてみませんか。雑木林の中でメジロ、シジュウガラ、コゲラの混群がお出迎えます。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月10日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：和田、田口、中島（章）、石井（博）、倉崎、松本

見どころ：ゆく秋のもと、河原にはカモ達が勢ぞろい。不作の夏鳥の分も冬鳥に期待して歩きましょう。コハクチョウもすでに北の国から来ていますよ。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：11月17日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、倉林、渡辺（周）、笠原、若林、岡部、兼元、森

見どころ：晩秋の芝川はコガモ、オナガガモ、



ホシハジロ等のカモ達で賑わいをみせる。そんな三室はやっぱりいい処だ。それ以上に鳥仲間に会えるのが嬉しい。

#### 長瀨町・長瀨探鳥会

期日：11月17日（日）  
集合：午前9時30分 秩父鉄道長瀨駅前  
交通：秩父鉄道熊谷8:23→寄居8:52→長瀨9:10着、御花畑9:01→長瀨9:27着、西武鉄道所沢7:42発にて上記御花畑で接続  
担当：小池、佐久間、町田、林（滋）、青山、岡野、井上、堀  
見どころ：長瀨は紅葉も鳥も見頃です。オシドリ、カシラダカなど冬鳥たちも揃いました。それにアフターは地粉の温かい新蕎麦も食べ頃かも。

#### 栃木県・奥日光探鳥会

期日：11月23日（土・祝）  
集合：午前9時20分 東武鉄道日光駅前、集合後バスで現地へ  
交通：東武伊勢崎線春日部7:42発（快速）日光行に乘車、切符は「日光フリーキップ」がお得  
解散：午後3時半ごろ、湯滝付近にて  
担当：中島（康）、福井、桜庭  
見どころ：奥日光は紅葉が散るともう冬。昨年は雪でしたが今年はどうでしょうか。戦場ヶ原を経て湯滝へと落ち葉を踏みながら歩きます。

#### 大宮市・染谷見沼自然公園探鳥会

期日：11月23日（土・祝）  
集合：午前8時20分 JR大宮駅東口こりすのトトちゃん像前、集合後バスで現地へ、または午前9時20分、見沼自然公園駐車場。（さぎ山記念公園の南西隣り）  
担当：工藤、新堂、楠見、兼元、浅見（徹）、森  
見どころ：“時よ止まれ”と思うほど見沼たんぼの晩秋は、田園と斜面林とが織りなす風景が実に美しい。冬鳥の姿を求めて歩きます。

#### 狭山市・人間川定例探鳥会

期日：11月24日（日）  
集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口  
交通：西武新宿線所沢8:45発、本川越8:43発に乘車  
担当：長谷部、高草木、藤掛、石井（幸）、小野、中村（祐）、山本  
見どころ：河原を歩くと、北の国からの冬越の小鳥ツグミ、ジョウビタキ、シメタチに出逢います。稲荷山公園のアカマツの下にはピンズイも来ているはず。

#### 溝川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：11月27日（水）  
集合：午前9時40分 森林公園南口入り口前  
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バス乗車、終点下車  
費用：入園料390円（子供80円）  
担当：桜庭、松井、新堂、中村（栄）、兼元  
見どころ：またまた登場好評の平日探鳥会！園内を巡り、林ではシロハラ、シメ、ルリビタキ等、沼ではカモの仲間を観察して初冬の一時をエンジョイ。

#### 『しらこぼと』袋つめの会

とき：11月30日（土）午後1時～2時ころ  
会場：支部事務局108号室

#### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月1日（日）  
集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車場、または午前8時15分JR高崎線北本駅改札口。集合後、タクシーで現地へ。リーダーの指示で分乘してください。  
担当：岡安、榎本、内藤、立岩、永野（安）、永野（京）、川那部、島田  
見どころ：遠来の冬鳥ジョウビタキ、下山してきたアカゲラとベニマシコを見ながら見上げるとノスリとオオタカが徘徊している。ホラ吹きではありません、メイクドラマを信じ続けた年だもの。

~~~~~  
行事案内は7頁にも掲載しています。

# 行事報告



6月16日(日) 浦和市 三室地区

参加: 49人 天気: 晴

カイツブリ カルガモ キジ バン キジバト  
カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ  
ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウ  
カラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ  
オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (21種)  
梅雨の合間の蒸暑い探鳥会であった。カッコウが  
3羽上空を飛び、鳴き声が参加者を喜ばせた。上  
新宿橋からアシの葉陰の巣でバンが子育てするの  
のははっきりと見えた。カルガモの親子の行列が今  
年はなぜか見られずに残念がっていた参加者を楽  
しませた。(楠見邦博)

6月16日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 29人 天気: 曇

カイツブリ カワウ チュウサギ コサギ カル  
ガモ コジュケイ キジ イカルチドリ キジバ  
ト カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバ  
メ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セ  
グロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ  
ウグイス シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ  
シブトガラス (30種) 空はどんよりと曇っている  
が、梅雨の中休み。高麗川の水量が全体に少なく、  
水辺の鳥たちも何か物足りなそう。カワセミ君は  
顔を出したが、ヤマセミ君や猛禽君はちょっとは  
にかんでいるのかな? 顔が見えなかった。少し寂  
しい探鳥会になった。(石井幸男)

6月29日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ホランテア: 15人

荒木恒夫、石井博、石井幸男、岩上照代、江浪功、  
海老原教子、海老原美夫、佐藤信治、飛田茂、中  
村治、藤野富代、森力、安原久子、谷津弘子、渡  
辺喜八郎

7月6日(土) 羽根図鑑の笹川昭雄先生講演会

参加: 60人 天気: 晴

暑さにもかかわらず大勢の方の参加があり、盛況  
だった。参加者の質問を受けながら、鳥の羽根個  
々の働きや、各パーツの見分け方のポイントを細  
かく説明してくれた。参加者の持参した羽根の鑑  
定もしてくれ、普段何気なく見ている羽根だが、  
このお話を聞いて、これから落ちている羽根を集  
めてみようと思った方も多いのではないだろうか。  
(中島康夫)

7月7日(日) 上尾市 八枝神社

参加: 20人 天気: 雨

アオバズク (1種) 開始前から雨が降り始め、心  
配されたが、20人もの参加者があつた。お目当て  
のアオバズクも初めは1羽だったが、周囲が暗く  
なり始めたなら同じ枝に2羽が止まり、1羽が餌を  
取って運んでくるのを観察できたが、雨が激しく  
なり早目に切り上げた。(中島康夫)

7月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 38人 天気: 快晴

カイツブリ ゴイサギ ダイサギ カルガモ ト  
ビ チョウゲンボウ キジ キジバト カッコウ  
アマツバメ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバ  
メ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ  
モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホ  
オジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボ  
ソガラス ハシブトガラス (27種) 梅雨明け直後  
の快晴故、人も鳥も大きく口を開けて体温調整。  
土手の上も野鳥の森も鳥が少ない。河原に出て、  
目の前でセッカ、オオヨシキリに面会でき、やっ  
と安心。超サービスは、カッコウとチョウゲンボ  
ウのフライト。いつものカワセミの代りに生まれ  
たままの姿のお姉さま!! 大勢のカメラマンに囲ま  
れてましたっけ。(町田好一郎)

7月21日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

雨のため中止。

7月21日(日) 浦和市 三室地区

雨のため中止。

7月27日(土)『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア:13人

赤塚義正、荒木恒夫、岩上照代、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、原田譲、藤掛保司、藤野富代、安原久子、渡辺喜八郎

7月28日(日) 長野県 湯の丸高原

参加:28人 天気:晴

トビ タカsp チョウゲンボウ アマツバメ  
コゲラ ツバメ ビンズイ ヒヨドリ モズ ミ  
ソサザイ ルリビタキ ノビタキ アカハラ ウ  
グイス メボソムシクイ ヒガラ ホオジロ ウ  
ソ ホシガラス ハシブトガラス(20種) 高原の  
涼風にそよぐ花、さえざる鳥。コマクサ、ヤナギ  
ラン、アヤメ、オトギリソウ、ヤマオダマキ、ニ  
ッコウキスゲなど49種の植物とホシガラス、ノビ  
タキなど20種の野鳥を確認。下界の暑さを忘れた  
ぜいたく三昧の一日。帰りのバスでの「夏は山に  
限る」の声に全員同感だった。(小池一男)

7月28日(日) 狭山市 入間川

参加:24人 天気:晴

カイツブリ ゴイサギ ササゴイ ダイサギ コ  
サギ カルガモ コガモ トビ キジバト カワ  
セミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハ  
クセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ セッカ  
シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス(26  
種) 入間川は水量が多く、水辺の鳥が少ない。ゴ  
イサギやササゴイは飛んでいる姿だけ。常連のイ  
ソシギやイカルチドリも今日はお休み。暑い河原  
から涼しい木陰の稲荷山公園へ移って鳥合わせ。  
クーラーもいいけど、林の中を通ってくる空気は  
気持ちいい。(長谷部謙二)

8月4日(日) 北本市 石戸宿

参加:35人 天気:曇

カワウ ゴイサギ カルガモ コジュケイ バン  
キジバト カッコウ アオゲラ ツバメ ヒヨド  
リ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ  
メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクド  
リ ハシボソガラス ハシブトガラス(21種) ア  
シの生い茂る石戸宿で一番目立ったのはホオジロ

のさえざる姿。それも心なしか元気がないように  
思えた。蒸暑さの中で遠くに聞こえるカッコウの  
声が涼しさを感じさせた。何人かは、その姿を見  
ることができた。バンとゴイサギの若鳥も印象に  
残った。戸外でのバードウォッチングは早目に切  
り上げ、学習センターでビデオ観賞を楽しんだ。

(岡安征也)

8月18日(日) 浦和市 三室地区

参加:43人 天気:晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサ  
ギ アオサギ カルガモ バン オオバン イソ  
シギ キジバト ヒバリ ツバメ イワツバメ  
ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ  
セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ  
スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス(26種) 夏の盛りの探鳥会は始める前から心  
配だ。しかし、いつでも終わってみると楽しい。  
下見の時には姿を見せない鳥たちの景色が出現す  
る。芝川でひとつのレンズにゴイサギ、アオサギ、  
カルガモ、イソシギ、バンが見られ、上空でダイ  
サギの乱舞。時間を短縮して約1時間半の探鳥会  
であったが、博物館のご好意の麦茶もあって全員  
満足だった。(楠見邦博)

8月25日(日) 第13回リーダー研修会

場所:埼玉県総合活動センター 参加者:42人

講師に本部の安西英明氏を迎え、今までの探鳥会  
での事例をもとに、「探鳥会の進め方」について  
岡安幹事の進行で活発な討議が行われ、盛況のう  
ちに終了することができました。この活力をこれ  
からの支部活動に活かしたいものです。今回、下  
記の新しいリーダー8名が誕生しました。

赤塚義正(川口市)、大坂幸男(上尾市)、北部  
とし子(浦和市)、島田恵司(鴻巣市)、高文子  
(上尾市)、松永一男(岩槻市)、松本生男(熊  
谷市)、吉岡洋治(浦和市)

8月31日(土)『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア:26人(最高記録!)

赤塚義正、荒木恒夫、岩上照代、海老原教子、大  
坂幸男、岡野米雄、角田真喜子、倉林宗太郎、佐  
久間博文、佐藤信治、島田恵司、鈴木啓紀、高文  
子、丹茂子、直井麻維子、中崎尹之、中村治、新  
部泰治、原田譲、日根七郎、藤掛保司、藤野富代、  
森力、安原久子、山本義和、渡辺喜八郎

連絡 中長

●鳥獣保護区に関する意見書提出

第8次鳥獣保護事業計画策定に対し、埼玉県環境部長宛て要望書を提出したことは、9月号の本欄でお知らせしましたが、それに引き続き、10月12日までに各市役所や町役場から次の4件の意見照会があり、それぞれ賛成の意見書を提出しました。

①三芳町役場（産業振興課）

東入間鳥獣保護区（川越市・狭山市・大井町・三芳町）の三芳町部分につき、指定が平成13年度に期限切れになるのに対し、平成23年度まで期限を更新する件。

②大井町役場（産業振興課）

東入間鳥獣保護区の大井町部分につき、上と同じ。

③北本市（農政課）

北本鳥獣保護区（北本市）の期間更新と区域拡大の件。

④浦和市（生活環境課）

北足立銃猟禁止区域の一部に荒川南部鳥獣保護区（浦和市・戸田市）を設定する件の、浦和市部分について。

●探鳥会を取材

9月号本欄でお知らせした第2回NTTワールド・バード・カウントに関して、9月29日（日）の坂戸市高麗川探鳥会を取材するために、毎日新聞社の記者がおとずれて約50人の参加者たちとともに歩き、探鳥会の様子は翌30日の第2社会面に、写真入りで紹介されました。

●NHK「野鳥百景」放映

8月号本欄でお知らせした山部直喜編集部長出演の「シラコバト」は、10月9日（水）午後8時50分から10分間放映されました。10月中2回再放送する予定です。

画面で緊張して話しているように見えるのは、近くにスズメバチがいて気になっていたからだとか何とか、いろいろ言い訳しながら照れています。

●県の「野生の生きもの写真コンクール」

今年も実施されます。

テーマ：県内で撮影された野生生物（鳥類・哺乳類・昆虫・植物・その他）の生態。

募集期間：12月1日～平成9年1月31日

応募資格・規格・注意事項などの問い合わせと作品送付先は、埼玉県環境部自然保護課野生生物係（336 浦和高砂3-15-1、直通電話048-830-3154）。

●11月の事務局 土曜と日曜の予定

16日（土）編集会議、研究部会（1時から）

17日（日）役員会議（仮日程）

23日（土）校正作業（1時から）

30日（土）袋づめの会（1時から）

●会員数は

10月1日現在2,681人です。

活動報告

9月2日（月）9月号発送作業（事務局）。

9月21日（土）10月号校正作業（石井智、海老原美夫、喜多峻次、工藤洋三、桜庭勇）。役員会議（司会：和田康男、各部の報告・全国野鳥密猟対策会議・鳥獣保護区の意見書・探鳥会予定の変更など）。与野市立与野南中学校の生徒6名が、文化祭テーマの学習に来訪、石井智幹事が対応。

9月25日（水）あさひカード探鳥会依頼打ち合わせに来訪。

編集後記

出版のプロである喜多さんという強力な助っ人が校正陣に加わったせいか、最近「毎度おなじみのごめんなさいコーナー」が書けなくなっていて、ちょっとさびしい。……なんて言っていると、どかんと来るかな。（海）

研究部の会議がある日なので事務局に行くと、誰も来ていない。1時間近く待って、今日はみんな集まれないことが判明。ポーとしていたら編集を手伝わされ、編集後記まで書くはめになってしまった。（トモ）

『しらこぼと』1996年11月号（第151号） 定価100円（会員の購読料は会費に含まれます）  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
印刷 関東図書株式会社 （本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします）

再生紙使用